

早稲田大学 政治経済学部 政治・経済 講評

〔総合分析〕

出題形式	記述式
試験時間	60分
特徴・その他	昨年と同じく大問5問,通商白書の統計図からの出題あり。政治思想に関する問題は出題されていない。議院内閣制と大統領制は今年度の教育学部でも出題された。統計図からの読み取りや時事的問題がやや難しい。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
I	ラテンアメリカと日本の「失われた10年」	メキシコの対外債務危機,日本の不況・政治の混迷・行政改革の動き,多方面からの出題である。昨年と同じく,通商白書からの統計資料からも出題されている。経常収支のGDP比の問題は難問。	やや難
II	議院内閣制と大統領制	イギリスの議院内閣制,アメリカの大統領制に関する問題。問2は設問があいまい(正答なし)	標準
III	日本国憲法	日本国憲法の基本原理・三大義務・非核三原則など基礎的知識を問う問題。従って,失点できない部分でもある。	やや易
IV	日本の財政	GDPに対する債務の国際比較の問題は問題文中の数値に注意。いずれも基本的知識を問う問題。	やや易
V	日本銀行と金融政策	日本銀行法に定める日本銀行の目的,日本銀行の金融政策に関する時事問題(問2・問3)などは幅広い知識が必要。	やや難

〔総合コメント〕

通商白書の統計図の問題は今後とも要注意。重要な時事問題については政経の資料集や時事用語集，イミダス，知恵蔵などで日頃から確認しておく必要がある。基本的な知識をふまえ，時事問題をいかにして攻略するかが合否を決する。